

平成30年度第7回安城市地域ケア推進会議

日時 平成30年10月18日(木)
午後1時30分～午後2時50分
場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

2 議題

- (1) 会議記録等の開示内容に関するアンケート結果について(事務局) (資料1)

- (2) 在宅医療・介護連携推進のための研修会実施報告 (資料2)
・保健福祉部会

- (3) 電子@連絡帳のドメイン間連携の開始と注意事項について(事務局) (資料3)

※時間があれば

- (4) 意見交換(フリートーク) (事務局)
・各部会の課題についてなど(来年度以降の各部会の研修、検討テーマのヒントとして)

連絡事項

- ・地域支援部会(加藤氏)からの情報提供
- ・在宅医療・介護連携推進のための研修会
テーマ: 口腔ケア研修会「口腔ケアの実際」(歯科医師会部会)
日時: 平成30年10月18日(木) 午後3時から
場所: 総合福祉センター会議室3 講師: 板倉 直美 氏、中村 尚美 氏
テーマ: 多様化する福祉人材について～外国人雇用の現状と課題～(施設部会)
日時: 平成30年11月7日(水) 午後6時から午後7時30分まで
場所: 総合福祉センター会議室3 講師: 古田 周作 氏
- ・認知症を知る講演会
日時: 平成30年11月17日(土) 開場: 午後1時30分 開演: 午後2時
場所: 安城市民会館 サルビアホール 講師: 秋川リサ(女優・タレント)



次回 平成30年11月15日(木) 午後1時30分～3時 社会福祉会館 会議室

地域ケア推進会議の名簿、議事要旨等の公開に関するアンケート調査結果

問1 名簿の掲載はどこまで可能ですか。

- | | |
|--|----|
| (1) これまでどおり掲載してよい（上記①の範囲です。氏名、所属、職種等、備考） | 15 |
| (2) 上記②の範囲で掲載してよい（個人名は載りませんが、所属、職種、備考あり） | 5 |
| (3) 上記③の範囲で掲載してよい（個人名、所属は載りませんが、職種、備考のみ掲載） | 0 |
| (4) そもそも協議会構成を掲載すべきではない | 0 |
| (5) 上記③の範囲なら名簿とは呼べないので、掲載する意味がないので載せない | 0 |

(1) とした理由

- ・市の正式な会ではないとしても各部会より選出され代表として出席している訳で、それなりの自覚は持っていたほうが良く、公表に値すると思う
- ・所属団体の代表として出席させていただいていますので、氏名が掲載されるのは当然かと思えます。
- ・特に不利益を感じないから。
- ・氏名記載で問題ないため
- ・これまでどおりで特に支障はなかったため
- ・隠す必要がないため
- ・他の職種に現在の部会の代表が誰かわかってもらえるため。
- ・会議構成メンバーはどんなメンバーかわかった方が、会議内容の説得力もあるし、所属、氏名がわかったところで、困ることは思い当たらないので
- ・安城市主催の会議なのでメンバーのある程度の属性は掲載すべき。
- ・これまでどおり掲載した方が、地域ケア推進会議の位置づけ【幅広い職種の専門職などの代表で構成されており、医療・介護・福祉などに関する色々な問題が真剣に議論されていること】が良く分かると考える。

(2) とした理由

- ・(1) で良いと個人的に思いますが、少人数でも氏名掲載を嫌がられる方がいらっしゃるのであれば、(2) の範囲の方が良いと思います。
- ・議事録を出すなら、どんな方で話し合っているのか、構成員くらいの情報は出すのが親切かと思えます)
- ・所属組織の代表としての参加であるため
- ・会議の参加者への名簿配布があるので、掲載時は個人名までは必要ないと思う
- ・個人の氏名まで掲載する必要性を感じないため

地域ケア推進会議の名簿、議事要旨等の公開に関するアンケート調査結果

問2 議事要旨の発言者の明記につき、どこまで許容できますか。(前提として、問1での名簿掲載が(1)これまでどおり掲載してよいとした場合)

(1) 部会名と個人名まで明記してよい	4
(2) 部会名だけ明記してよい(これまでどおりの形式です)	13
(3) 名簿で氏名を掲載しない(問1の(2)の状態)なら、部会名だけ明記してよい	0
(4) 部会名も明記せず、「委員」という表現に留める	2
(5) そもそも議事要旨の公開をすべきではない	0

(1) とした理由

- ・所属部会の代表として参加しているが、自分の意見が部会の人たちの皆の同意を得ているものではないから。代表として発言しても、発言の内容は個人の考えであるから。
- ・発言に責任があるため。
- ・氏名記載で問題ないため
- ・本来発言した内容には、発言者が責任を持つべきである。そのためには、今回のメールの様に、公表する前に、発言者の事前確認を取ることが前提となる。そうしないと、発言者の真意が正確に伝わらない、間違っって伝わる懸念がある。
- ・個人名まで明記してあれば、他のメンバーなどが、後日発言者の真意を確認したい、好事例として参考にしたいなどの場合に、連絡が取りやすい。

(2) とした理由

- ・今までの表記で違和感はなかった。発表した部会がわかればわざわざ個人名まで載せる必要性はないと思う。
- ・これまでどおりで特に支障はなかったため
- ・部会名が分かれば十分ではないかと思えます。・個人名の記載に必要性はないと考える
- ・私個人としては(1)でも構いませんが、(2)が全体的には了解得れるかなと
- ・そもそも会議内容が各種団体同士の連絡会なので、議事録については、要旨のみで良い
- ・氏名が記載されると堅苦しくなり、発言しにくくなる面もある
- ・議事を読むときに発言者の部分が長いと読みにくい。〇〇部会の「部会」もいない。安城市医師会、病院等でOK.
- ・どの分野からの意見はわかったほうが良いと思うので

(4) とした理由

- ・会議として誰が発言したのかが必要ならば明記する必要があるが、内容がわかれば良いのなら「委員」に留めるだけの方が萎縮せず発言ができるのではないかと思います。
- ・報酬が支出される会議ではないことを考慮すると発言に責任はないと思うので個人名は明記するべきではないし、所属部会外の内容を発言する場合もあるから部会名を明記する意味がない。

地域ケア推進会議の名簿、議事要旨等の公開に関するアンケート調査結果

問3 その他、ご意見があればお聞かせください。

- ・安城市の地域包括ケアの中核をなす会議としますので、議事の公開は当然必要かと思えます。
- ・部会内で検討した結果、部会名のみ記載の方が話しやすいという意見が多かったため
- ・各部会より2名ずつ参加している状況で、意思を持って参加されている方、半ば強制的に参加されている方など、それぞれの想いで参加されていることが理解できました。
- ・個人情報に関わることなので、聞いてしまった以上、嫌がる方が少数でもいれば、多数決より下限に設定する方が問題とならないのかな、と思います。
- ・今まで問題が発生していないので現状で良いかと思う。
- ・議論を活発化するためには、事前に会議の議題は連絡されてるのだから、レジメに記載されてる内容を読み上げるような発表は控え、その分質疑や意見表明の時間にまわすべき。
- ・時間的な制約もあるとは思いますが、事前に次第をメール送付していただく時に、議題につきもう少し詳しい内容（要点など）が記載されていれば、会議での議論が深まるのではないのでしょうか。
- ・市民参加を推進するためのガイドラインの内容や、議事録の意味を考慮すれば、発言者まで明記するのが本来の意味合いであり、さらに市が主催の会議であるため情報公開請求がなされれば、発言者を含めたその全てが開示対象となることは理解できます。そのことを勘案すれば、例えば内部資料としては発言者まで明記した議事録を作成して出席者に配信し、ポータルサイトへ公開する記録は部会名までに留めておくというのも一案かもしれません。

しかし、会議の主旨を考慮すれば、市内のステークホルダーを含めた多くの専門職や市民の立場から自由で活発かつ建設的な議論を求めるところであり、ただでさえ発言を控えがちな出席者もいる中で、更に発言を委縮させかねないような取り決めは控えるべきではないかと思われまます。

一方で議事録の公開が、会議の内容等を出席者以外にも多くの人に広く知って貰いたいという主旨であれば、発言者まで記載する必然性は感じられません。今回は会議の出席者への配慮が少々足りず、議論の進め方がやや雑な印象を受けます。会議の発足から4年以上が経ちメンバーも入れ替わる中で、これを契機に、なぜ会議を開催するのか、何を会議で議論するのか、どうして議事を公開するのか等の目的や意義について、いま一度振り返り認識をすべき時期が来ているのかもしれない。

平成30年度 地域包括ケアの事業計画について

1 地域での取り組み

- (1) 町内福祉委員会中心の地域見守り活動の継続と推進
- (2) 介護予防・生活支援に関する住民活動の拡充
- (3) 医療と介護、地域が連携した地域ケア個別会議への参加
- (4) 地域の課題の解決策の検討を中心とした地域ケア地区会議への参加

2 地域ケア会議の開催と各部会の活動

- (1) 地域ケア個別会議の開催
困難事例を中心に医療・介護・福祉の専門職と地域の関係者が連携し、個別支援に向けた検討を行う。
また、地域におけるニーズ把握の材料とする。
- (2) 地域ケア地区会議の開催
地域の課題を明らかにし、その解決策を検討するとともに、必要に応じ、保健福祉部会での検討や地域ケア推進会議への提案につなげる。
- (3) 地域ケア推進会議の開催
 - ア 地域ケア地区会議から提案された課題の解決策について協議する。
 - イ 在宅医療・介護に関する課題の抽出と対応策の検討を行う。
 - ウ 在宅医療介護連携のための研修会については運営方法や内容の検討を行い、より連携を深めるよう効果的な実施を目指す。
 - エ 各部会でテーマについて検討し、地域包括ケアの推進における問題点とその解決策等を探る。

3 主な取り組み

- (1) 在宅医療介護連携の推進
 - ア 安城市医療・介護・福祉ネットワーク「サルビー見守りネット」の活用の推進と近隣市との連携
 - イ 在宅医療に関する普及啓発
 - ウ 在宅医療サポートセンターの設置
- (2) 認知症施策の強化
 - ア 認知症の人とその家族の支援に向けた取り組み（若年性認知症を含む）
 - イ 認知症サポーター、ステップアップ講座修了者を中心とした活動の場の検討
 - ウ 見つかるつながるネットワークの周知と活用の促進
 - エ 専門職の認知症対応力の向上に向けた取組（研修会等）
- (3) 生活支援体制整備事業の拡充
 - ア 第1層生活支援コーディネーターを配置し、NPOや生協などが行っている生活支援の把握とネットワーク化を図る。
 - イ 住民活動の担い手の養成に向けた取り組みを行う。
- (4) 地域における介護予防の取組の充実
 - ア 町内会健康体操教室をはじめとする地域の介護予防に資する活動や身近な通いの場の拡充を図る
 - イ 元気な高齢者が活躍できる場や機会を充実する
- (5) 障害福祉の関係機関との連携を強化し、地域包括ケアシステムの推進を図る。
- (6) 宅建協会碧海支部会員を対象に住宅確保要配慮者への対応に関するアンケートを実施

9月13日 在宅医療・介護連携推進のための研修会 アンケート結果

資料2

演題／支援における家族理解～8050問題から考える制度の狭間問題の家族支援とネットワーク支援のあり方～
講師／高橋 健輔 氏(名古屋市社会福祉協議会 権利擁護推進部 次長)

※研修会の参加者 84名 アンケート回収 74名(回収率 88.0%)

1. 職種

職種No	職種	人数
1	医師	1
2	歯科医師	0
3	薬剤師	0
4	看護師	10
5	保健師	4
6	理学療法士	0
7	作業療法士	1
8	言語聴覚士	0
9	栄養士	0
10	歯科衛生士	0
11	MSW	1
12	ケアマネジャー	34
13	社会福祉士	14
14	介護福祉士	1
15	ヘルパー	3
16	その他	4
0	不明	1
合計		74

2. 所属

所属No	所属	人数
1	病院	5
2	診療所	2
3	薬局	0
4	訪問看護ステーション	1
5	老人保健施設	1
6	特別養護老人ホーム	1
7	有料老人ホーム等	0
8	居宅介護支援事業所	29
9	地域包括支援センター	22
10	社会福祉協議会	10
11	介護サービス事業者等	2
12	その他	1
0	不明	0
合計		74

3. 研修の反応

(1)わかりやすさ		人数
1	わかりやすい	54
2	まあまあわかりやすい	18
3	どちらでもない	2
4	あまりよく分からない	0
5	全く分からない	0
0	不明	0
合計		74

(3)今後に活かせるか		人数
1	活かせる	46
2	部分的に活かせる	26
3	どちらでもない	1
4	あまり活かせない	0
5	全く活かせない	0
0	不明	1
合計		74

(2)満足度		人数
1	満足	41
2	まあ満足	26
3	どちらでもない	4
4	やや不満	1
5	不満	0
0	不明	2
合計		74

4. 今後、企画してほしい研修など

- ・ 認知症患者のサポート対策・内容
- ・ 主治医との医療連携(医師が望むことと医療機関が望むこと)
- ・ 制度の狭間の人の支援(精神疾患や認知症と診断がつかないが問題があるケースの支援について)
- ・ 高齢者に興味を持たせる方法(運動でも、手芸でも)を教えて欲しいです。
- ・ 事例検討。介護保険制度に理解のない、介護を必要とする独居又は高齢世帯、金銭的に難しい方への支援に対する導入。
- ・ 引きこもりのいる家庭へのアプローチ方法。生活就労自立相談支援事業の事例紹介、どのような世帯変化があったのか知りたい。

5. ご意見・ご感想等

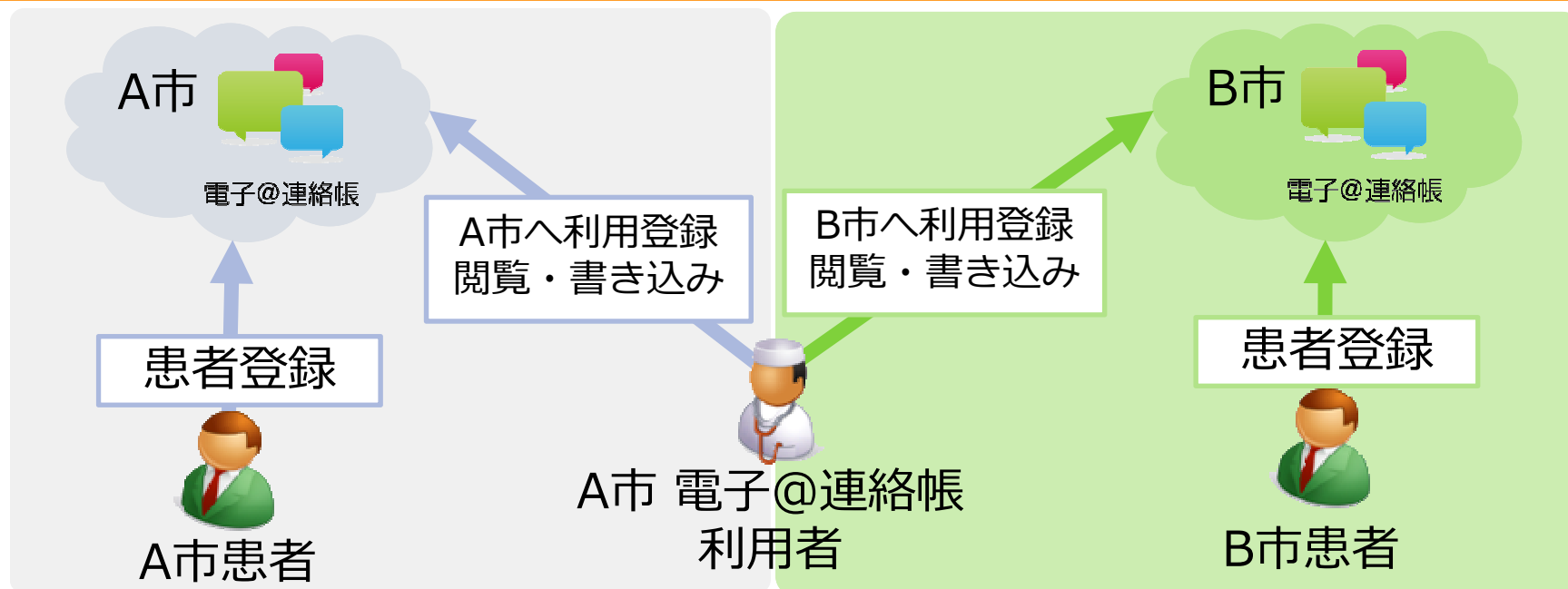
- 利用者の問題があってもなかなか解決出来なかったりする事が多いが、自覚者が人一倍汗をかかなければならないという言葉があり、方向性(姿勢)として役に立つ言葉でした。
- 市民後見人についてもっと知りたいと思う
- とても分かりやすかったけど後半時間がなくなったのが残念でした。もう少し後半の内容も時間をかけて聞きたかった。
- 「家族」の存在をどう理解するのか、「支援の狭間」について気付かされました。
- とても参考になりました。又是非やって欲しいです。
- もう少し遅い時間の方が仕事がぬけやすいです。
- 成年後見人については以前勉強していたため、忘れた部分もありましたが、理解できましたこと感謝いたします。ありがとうございました。
- 一人で悩まずに周りをまきこんでいくようにします。
- 話し方が分かりやすかったです。
- ありがとうございました。
- とても考えさせられるテーマの研修でした。参加できてよかったです。ありがとうございました。
- 家族が社会資源の一つとして捉えるのではなく、支援を必要とする対象者と言う話がとても心に残った。
- 8050問題ので家族に向けた支援について、成年後見ともからめた支援も知ることができ、勉強になった。
- テーマとして難しい中、講師の方がきれいにまとめて下さったと思います。
- 期待していた内容と違いました、
- 成年後見の話題が中心で少しテーマとずれていたかな…と思いました。すみません。

ctc

電子@連絡帳
ドメイン間連携についてのご案内

中部テレコミュニケーション（株）

ドメイン間連携とは (現状)



A市 電子@連絡帳利用者が、A・B市の患者の情報を閲覧・書き込みする場合

✓ A・B市どちらの電子@連絡帳にも施設の登録を行い

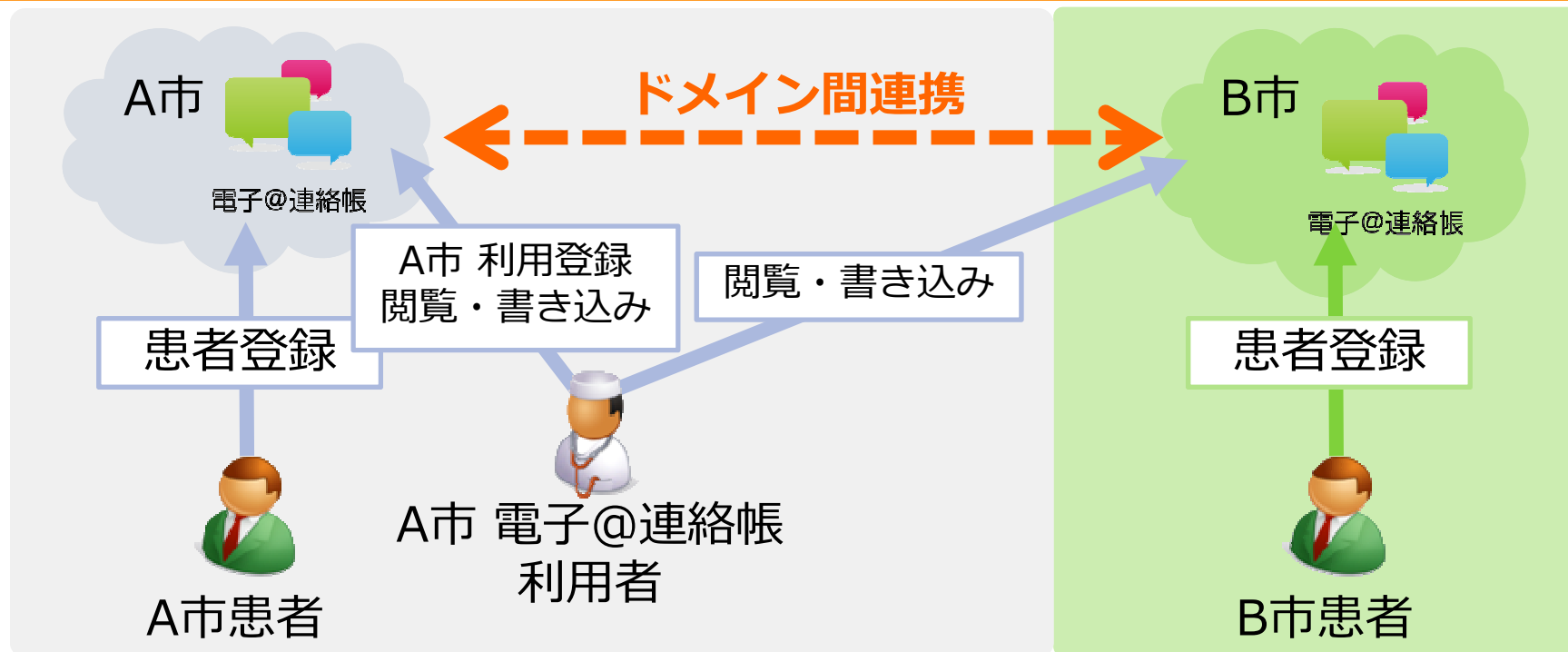
A・B市どちらの電子@連絡帳にも利用者登録をしておく必要がある

✓ 患者の居住地に合わせて、地域ごとの電子@連絡帳を使い分ける必要がある

ログインIDは同じものを利用できないため、A市とB市で異なるログインIDとなる

✓ A市の患者にはA市で登録した利用者のアカウントで支援チームに入り、B市の患者にはB市で登録した利用者のアカウントで支援チームに入ることとなる

ドメイン間連携とは (ドメイン間連携後)



A市 電子@連絡帳利用者が、A・B市の患者の情報を閲覧・書き込みする場合

- ✓ A市の電子@連絡帳に利用登録し、A市で登録した利用者のアカウントでA市の患者とB市の患者の支援チームに入る
- ✓ A市の電子@連絡帳の患者一覧へ、A市の患者もB市の患者も表示され情報の閲覧・書き込みが可能

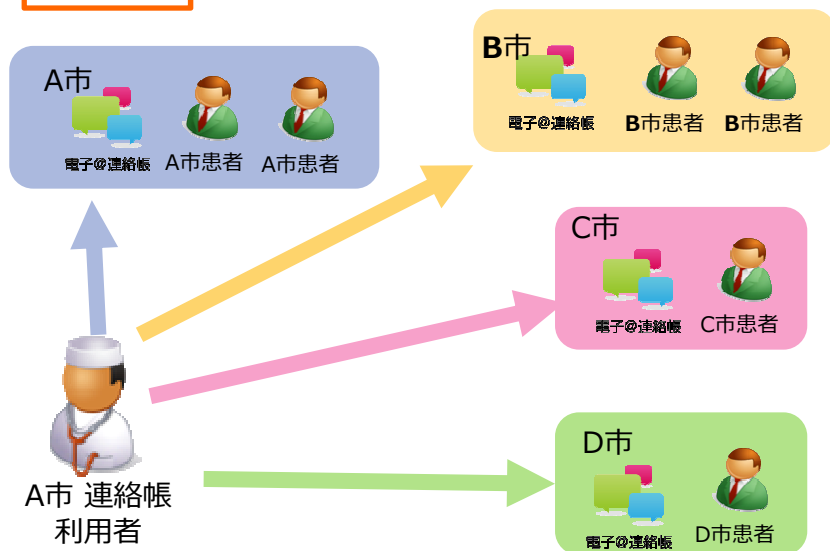
ログインIDも複数使い分ける必要もなくドメイン間連携を行う地域が多ければ多いほど、一つの画面で広い地域の患者さんの情報を閲覧・書き込みが可能となる

利用者の利便性向上と効率化

【A市の利用者がA市・B市・C市・D市の患者の支援チームに入っている場合】

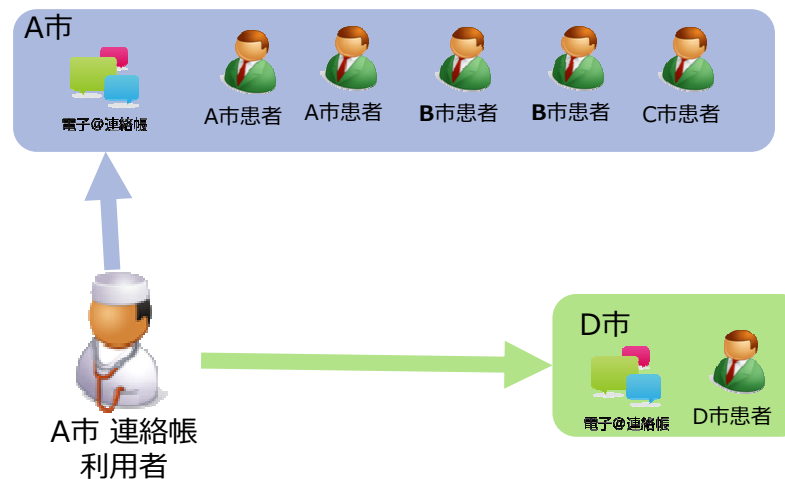
- 現在
A市・B市・C市・D市の連絡帳に登録があり、それぞれの市の連絡帳で患者の情報を閲覧・投稿している
- ドメイン間連携後（A市・B市・C市がドメイン間連携を行いD市はドメイン間連携を行わない）
A市の連絡帳から、A市・B市・C市の患者の情報を閲覧・投稿し、D市の患者のみD市の連絡帳へログインして患者の情報を閲覧・投稿する

現在



それぞれの連絡帳へログインしている

A市・B市・C市のドメイン間連携後



A市とD市の連絡帳のみログイン

【A市の利用者がA市・B市・C市・D市の患者の支援チームに入っている場合】

- ①B市のアカウントでB市の連絡帳へログインし、B市の患者の支援チームにA市のアカウントを入れる。
- ②C市のアカウントでC市の連絡帳へログインし、C市の患者の支援チームにA市のアカウントを入れる。
- ③A市のアカウントでA市の連絡帳へログインし、B市の患者・C市の患者が一覧に表示されているか確認する。確認ができたなら、B市・C市の自分のアカウントを支援チームから外す。
- ④施設管理者は①～③の操作が完了した利用者のB市・C市アカウントを削除して、最後に施設管理者自身のアカウントを削除する。

- ⑤B市とC市の施設を削除する
(施設の削除はB市・C市のサービス運用者が削除する為、削除依頼の連絡手順等は別途、取り決めが必要です)

※ドメイン間連携を行わない「D市」は何も操作せず、今までと同じ利用方法となります。



要検討

【例】 B市の患者の支援チームへA市のアカウントを入れる場合①

B市電子@連絡帳

B市の電子@連絡帳へログインし患者の詳細ページへ入る

患者サマリ (デモ)藤岡正志 (デモ)フジオカマサシ
 性別: 男 年齢: 79才 (1937-09-03 生) 連絡先: 052-987-9876

同意あり

記事一覧:

- 記載者: 高橋 医師 (CTCデモ) (Dr: (デモ)電文病院) 登録日時: 2016年04月14日 10時51分 文書タグ: 処置
- 記載者: 山本 看護師 (CTCデモ) (Ns: (デモ)訪問看護ステーション丸の内) 登録日時: 2016年04月14日 10時49分 文書タグ: 褥瘡
- 記載者: 鈴木 薬剤師 (CTCデモ) (Prm: (デモ)名駅薬局) 登録日時: 2016年04月14日 10時46分 文書タグ:
- 記載者: 高橋 医師 (CTCデモ) (Dr: (デモ)電文病院) 登録日時: 2016年04月14日 10時44分 文書タグ:
- 記載者: 田中 歯科医師 (CTCデモ) (Dt: (デモ)にしき歯科) 登録日時: 2016年04月14日 10時40分 文書タグ: 口腔ケア
- 記載者: 伊藤 介護支援専門員 (CTCデモ) 登録日時: 2016年04月14日

担当/グループの「編集」をクリック。

【例】 B市の患者の支援チームへA市のアカウントを入れる場合



① A市の連絡帳を選択

② 一覧から自分の名前を選択

③ 支援チームメンバーを更新

地域	連絡帳
A市	A市電子@連絡帳
B市	B市電子@連絡帳
C市	C市電子@連絡帳

氏名	所属
加藤 拓也	(Adm: ECNデモ施設)
小栗 久史	(Adm: サポートデスクECNN)
杉下 明隆	(Hit: 名大病院 (ECNデモNE)
八嶋 ゆかり	(Otr: 名大病院 (ECNデモNE)
加藤 拓也2	(Dr: ECNデモ施設)
テスト 太郎	(Dr: サポートデスクECNNE
加賀 亮多	(Adm: サポートデスクECNN)
福岡 瑛	(Adm: サポートデスクECNN)
名大 地域包括	(Cm: 名大病院 (ECNデモNE)
宮田かおり (ECNデモNEXT)	(Otr: 名大病院 (ECNデモNE)
デモ 太郎	(Dr: サポートデスクECNNE

更新

A市の連絡帳の一覧にB市・C市の患者が表示されるか確認する



A市電子@連絡帳

患者 1
プロジェクト
その他

メッセージ
終了

新規追加

検索
クリア
検索詳細
期間: 過去3日以内
データ連携

地区ラベル	新着など	氏名/フリガナ	性別	年齢	自宅電話番号	住所	最新更新日時	最新記載者	詳細	バイタル
A市〇〇	新着あり	藤岡 正志 (フジオカ マサシ)	男	80才	0000-00-0000	A市〇〇1-1-1	18/3/9 10:44	(デモ)市役所 (Pba: (デモ) 研)	詳細	バイタル
B市〇〇	新着あり	デモ岡崎 0太郎 (デモオカザキ タロウ)	男	82才	0000-00-0000	B市〇〇3-1-1	18/3/9 10:44	デモ研修3 6 (Dr: デモ研修施設)	詳細	バイタル
C市〇〇		山岡 一男 (ヤマオカ カズオ)	男	76才	0566-00-0000	C市〇〇1-5-1	18/3/2 20:39	熊澤久枝 (Otr: サポートデスク高)	詳細	バイタル
A市〇〇		花村 タロウ (ハナムラ タロウ)	男	80才	0000-00-0000	A市〇〇2-1-2	17/11/24 16:20	(デモ)市役所 (Pba: (デモ) 研)	詳細	バイタル
B市〇〇		山田 一郎 (ヤマダ イチロウ)	男	76才	0566-00-0000	B市〇〇3-5-1	18/3/2 20:39	熊澤久枝 (Otr: サポートデスク高)	詳細	バイタル

「地区ラベル」から、どこの市町の患者なのかを確認することができます。

管理
マニュアル

(知立市)河野亜紀 (Otr: サポートデスク知立)
 ログイン日時: 2017/11/27 11:20:27

Copyright © CAMCR & Tokai Medinet Forum NPO. All Rights Reserved.

電子伝達記録 Ver 2015

【プロジェクトの閲覧範囲を設定できます】

選択担当者 ⇒ 選択したメンバーのみ閲覧可能です

愛知県B市の全対象者 ⇒ B市の全利用者が閲覧可能です

全利用者 ⇒ ドメイン間連携をしているA市・B市・C市の全利用者が閲覧可能です

新規プロジェクトの登録(3/3)

必須項目 > その他 > 担当者選択

担当グループおよび担当者一覧

地域 [B市]〇〇ネットワーク

抽出・検索パネル

能澤久枝 (Otr: サポートデスク)

※下記の担当者は文書登録を行っています。

アクセス権

登録メンバー一覧 | 登録施設一覧

〇	〇	〇	〇	△△施設
〇	〇	〇	〇	△△施設
〇	〇	〇	〇	△△施設
〇	〇	〇	〇	△△施設
〇	〇	〇	〇	△△施設

画面サイズ切替

戻る 登録

アクセス権

選択担当者
愛知県 B市 の全対象者
全利用者

患者登録時の支援チームメンバーの選択について



【例】 B市患者の支援チームへA市の利用者を入れる場合

The screenshot shows a software interface for patient registration. On the left, there's a sidebar with '患者サマリ' (Patient Summary) for 'B市電子@' (City B Electronic@). The main area is titled '患者情報の修正' (Patient Information Correction) and shows a list of support team members. A dropdown menu is open, showing a list of users from 'A市電子@' (City A Electronic@). A red box highlights the dropdown menu, and a red arrow points to the '登録' (Register) button at the bottom right.

① A市の連絡帳を選択
②一覧から支援チームに入れるメンバーの名前を選択
③支援チームメンバーを登録

【患者登録は必ず「患者の居住地域」のアカウントをお持ちの利用者が登録してください】

患者登録を行った利用者がログインしている地域の患者として登録されます。

B市に住んでいる患者を登録する際は、B市の利用者が登録を行いますが、市境などの患者で支援チームにB市の利用者がいない場合は、B市のサービス運用者が患者の登録を行います。

【重複登録の確認画面が出た場合は、住所・生年月日を確認の上、同一人物の場合は登録作業を中止してください】

The screenshot shows a patient registration interface. On the left, a 'Web ページからのメッセージ' (Message from Web page) window displays a warning: '患者名、性別が同一のデータがあります。' (Data with the same patient name and gender exists). An 'OK' button is highlighted with a red box. A callout bubble points to this button with the text: 「OK」をクリック (Click 'OK').

The main registration form is titled '新規患者の登録(1/3)' (New Patient Registration (1/3)). It has tabs for '基本情報' (Basic Information), 'サマリ情報' (Summary Information), and '担当者選択' (Staff Selection). The '基本情報' tab is active, showing fields for: 患者名 (Patient Name) with '藤岡 0正志', フリガナ (Kana Name) with 'フジオカ マサシ', 性別 (Gender) with '男' selected, 生年月日 (Date of Birth) with '1995/07/01', 連絡先 (Contact) with '052-***-****', and 郵便番号 (Postal Code) with '460-0001'. There are also buttons for '和暦' (Japanese Calendar) and '西暦' (Gregorian Calendar).

On the right, a '患者検索結果' (Patient Search Results) window is open, showing a table of search results. A red box highlights this window. A callout bubble points to it with the text: 患者名、性別が一致する患者の一覧が表示されます。 (A list of patients with the same name and gender is displayed).

患者名	性別	患者情報及び登録		
藤岡 0正志	男	生年月日	1993/06/02 (85歳)	
		住所	愛西市	
		地域患者ID	023000000000129120	
		操作	登録	他の地域で登録されています
患者名	性別	患者情報及び登録		
藤岡 0正志	男	生年月日	1931/05/05 (87歳)	
		住所	愛知県知多郡東浦町大字緒川字政所 2 0	
		地域患者ID	023000000000087446	
		操作	登録	他の地域で登録されています
患者名	性別	患者情報及び登録		
藤岡 0正志	男	生年月日	1950/09/25 (67歳)	
		住所	愛知県稲沢市稲府町	
		地域患者ID	023000000000099140	
		操作	登録	他の地域で登録されています

患者登録時の注意点②

B市以外で登録されてしまっている為、B市のサービス運用者までお知らせ下さい

The screenshot shows a patient registration form with the following fields:

- 患者名: (デモ)藤岡 0正志
- フリガナ: デモフジオカ マサシ
- 性別: 男 女
- 生年月日: 2018/07/09
- 連絡先: 052-***-****
- 郵便番号: 460-0001
- 住所: (空欄)

The system displays a warning message: "他の地域で登録されています" (Registered in another region). The warning details are as follows:

患者名	性別	生年月日	住所	地域患者ID	登録者	登録日
(デモ) 藤岡 0正志	男	1938/09/05 (79歳)	愛知県B市〇〇	023000000000098987	〇〇〇〇 (Otr) 〇〇施設	2017/09/28 09:15

A yellow arrow points from the warning message to the registration form, and another yellow arrow points from the warning message to the registration details table.

住所と生年月日も一致の為
同一人物と確認できる場合
【患者登録作業を中止してください】

既にB市で登録されている為、支援チームのメンバーへ連絡し支援チームに加わって下さい

要支援者の避難支援について

【相談事例】

①自分たちだけでは移動が困難又は不安があり避難できないが、避難したいとの相談があった場合（例：ひとり暮らし高齢者、老老介護世帯など）

※台風 24 号襲来の際、夜間民生委員へ相談あり。

②在宅酸素を利用する住民について、停電時に心配になり民生が訪問。停電が長引く場合の対応はどうしたらよいか。（例：最後の予備バッテリーを使用した場合など、指定避難所などで対応可能か）

【桜井連合町内会と相談・協議 10/9】

- ・現状、相談があっても担当民生が対応することは難しい。
- ・町内会組織も組織としての対応ができる状態ではない。

（民生委員含め、個人の善意で対応することがあり得てもすべてに対応できない。）

★（今できる相談後の対応としては）タクシーや福祉タクシー事業者の利用の案内

★事前の啓発、呼びかけにより、安全に避難できる内に早めに自主避難することを広く呼びかける。（各町同意のもとできそうなこととして。）

- ・同時に自主避難したい人の受け入れ先の検討も必要。

★地域の青パトを活用した地区内への呼びかけ。（現状で実施する体制はないが、ツールの一つとして考え得る。）

〈その他機関との連携による災害時対応の備え〉

- ・担当ケアマネと当事者で、事前相談して避難時の移動手段、受け入れ先や準備の確認ができないか
- ・福祉施設との連携や協力も選択肢として検討できないか
- ・サービス利用者が避難所に自主避難した際は、サービスを避難所で受けられるか

地域ケア推進会議：ご参考

榎前町内会 会長 加藤研一

NHK ラジオ健康ライフ「介護する人の心が少しでも軽くなるために」で、介護者メンタルケア協会代表 理学療法士 橋中今日子さんがお話されています。

1. 今週のテーマ

- ① 「気持ちを切り替える大切さ」
- ② 「イライラが収まらない」
- ③ 「仕事を辞めるべきか悩んだら」
- ④ 「排せつにまつわるトラブル」
- ⑤ 「悲しみを抱えながらの介護」

⇒まだ放送中ですが、「聞き逃し番組」のコーナーで、暫くの間聴くことができます。
ケアマネさん・地域包括他、介護関係専門職の皆さんのご拝聴をお勧めします。

2. 橋中さんのプロフィール

- ・理学療法士、リハビリの専門家として、14年間病院勤務。
- ・プライベートでは、認知症の祖母、重度身体障害の母、知的障害の弟の3人を介護している。シングル介護歴21年。
- ・現在、心理カウンセラーとして、家族を介護している方、医療・介護の現場で働く方が「心が軽くなる」心身両面からサポート活動している。

3. ホームページの紹介

「はじめての方へ」として

- ① 介護をしていることで、自分の人生をあきらめないで！
- ② 介護で“自分の時間”がすべてなくなった！
- ③ 無意識に自分を追いつめていった日々
- ④ 救ってくれたのは、上司の言葉
- ⑤ ひとりで苦しんでいるのは、わたしだけじゃなかった！
- ⑥ 介護を理由に仕事を辞める人は、年間10万人！その裏にあるもの
隠れ介護を続けている人の存在、職場に介護の悩みを相談しないまま辞めている、
周囲の人を頼る前に仕事を辞めている現実がある。
家族介護者自身が行動しなければ何も始まらない！
- ⑦ 介護に関する事件は、頼れなかったことから起こっている！
- ⑧ 自分でも限界に来ていることが気づくことができない！
- ⑨ 身体と心が届けてくれている“サイン”に耳を傾けて！
今までできてきたことができなくなってきた、介護をするのがおっくうに感じる・
イヤだと感じる、体が重だるい、些細なことで家族を怒鳴ってしまう、突然泣けて
くる、この状態を感じているとしたらピンチではなくチャンス！
- ⑩ 相談すること、頼ることは甘えじゃない！！
- ⑪ ええかっこしい（いい人にみられたい！）を辞めませんか？
苦しいのは、まだあなたがあきらめていないから

以上